

section

1

面接対策の前に知っておいて欲しいことを紹介！



ネコ君

今年は公務員試験をたくさん受ける予定なんだ！
特に面接はわからないことだらけだから、せんせいに質問しまくる予定！よろしくな 😊



せんせい

よーし！
じゃあ面接対策をはじめようか 🔥
まずは『面接の基礎知識』から勉強していこう！

★★★★☆

1

まず「面接試験」ってなんだろう？

「そもそも面接試験ってなんだ...？」ってところから始まる方も多いのではないのでしょうか。これまでの競争試験、いわゆる高校や大学の入学試験というのは「筆記試験のみ」の場合が多いですからね！私もアルバイトの面接に落ちたことがあって、それが最後の面接ですから、それ以来の面接ということになります(笑)まあアルバイトの面接と公務員の面接は別物なので、これはノーカウントですね。

そんなことは置いておいて、人生初の面接という方が多いでしょうから、まずは公務員の面接試験の概要を紹介しちゃいます！

面接会場

面接官



机



あなた

面接概要

面接官：1～5人

面接時間：10～40分

- ※一般的には面接カードに沿って質問が投げかけられる
- ※自治体等によって形態は様々



面接試験というのは、質問に対する受験生の受け答えを見て、面接官が受験生の人柄、意欲、対人関係能力等を評定する試験のことですね。公務員の面接試験には傾向があり、国家と地方で大きな違いがあります。国家一般職や国税専門官など、国家公務員の人事院面接は、面接官が3人、試験時間が15分前後となっており、人物重視の都道府県庁・市区町村などの個別面接は、面接官が3～5人前後、試験時間が20～40分前後となっている場合が多いです。当然、これらの形式は自治体や省庁ごとによって変わってきますので一概には言えませんが、対策方法は同じなので安心して下さいね！

公務員の面接は『試験』ですから、合否だけではなく、点数化される場合が多いです。例えば、国家一般職の場合、A～Eの5段階評価となっており、この評価ごとに偏差値と標準偏差、配点比率から自分の得点（標準点）が算出されるわけですね！これらの評価方法や試験概要も自治体や省庁ごとに異なります。

基本的には『面接カード』と呼ばれるエントリーシート、要は「自己紹介カード」に沿って面接を進める場合が多いです。この面接カードの書き方や評価ポイントなどは非常に重要なので、これからこの本でじっくり解説していきますね！



公務員の面接についてなんとなく分かったよ。
結局、面接官が質問してきたことにうまく答えて、自分をアピールしていけばOKってことね！



そうだね！あらかじめ提出する『面接カード（エントリーシート）』に沿って質問が投げかけられるんだ。
ここら辺の書き方等はコツもあるから、また後で解説するね！

★★★★

2 なぜ「面接試験」があるのか？

今までの大学受験などは、筆記試験（勉強能力）だけで合格できるパターンが多かったと思いますが、公務員の試験は筆記＋『人物』が見られるわけですね。「なぜ、人物が見られるんだ、今まで通り筆記試

験だけで良いじゃないか」と思う方もいるでしょう。実は私もそのように思っていました。でも、そういうワケにはいかないんですね！この理由はとても簡単で、**公務員**と言うのは**仕事**であり、**社会（組織）**だからです。

特に**公務員**という仕事では、**公務員試験**のために勉強した知識や**高校・大学**で学んだ知識と言うのは**活かせる機会が少ない**でしょう。だから、そういった知識よりも、その人の**人柄・ポテンシャル**を重視しているというわけですね！将来この組織を引っ張っていける人材かどうか、職務に**適性**がある性格か、人間関係でもうまくやっ**て**いけるか...等、**皆さんの人柄や職務適性**などの方が**よっぽど大事**ということです。だから、採用担当者もわざわざ1人の受験生に多くの時間を使って、将来有望な人間を選ぶんですね！

筆記試験では**一般教養知識**や**事務処理能力**などは測れますが、その人の**性格**や**意欲**、**仕事に対する適性**といった「**人物の内面**」を測ることはできないですからね！学生の時みたいに好きな人とだけ付き合っ**て**、嫌になったら辞めて...等はできないわけですよ。

ちなみに、「勉強ができる＝仕事ができる」と思っている方は大きな間違いですよ～！**筆記試験が満点**だから**コミュニケーション力**があ**って**、**企画力**があ**って**、**交渉力**があ**って**...**って**仕事ができるわけじゃないですからね！現に**公務員試験の席次（最終合格順位）**は、その後の**配属**にほとんど**影響**がな**か**つたりします。（※**国家公務員**の場合は**試験**によって**影響**があ**つ**たりします）



なるほど 😞
確かに勉強ができるから仕事ができるってワケじゃないもんね！
じゃあ結局のところ公務員試験では面接が一番大事ってこと？



面接は最後の砦だからね！ここで良いと言ってもらわないと合格できないんだから私は一番大事だと思ってるよ！
次は重要な『**コンピテンシー評価型面接**』について紹介するね！

3 『コンピテンシー評価型面接』が流行！

① コンピテンシー評価型面接とは？

公務員の面接試験では『コンピテンシー評価型』の面接手法が採用されています。「コンピテンシー？何それ？」って話ですよ！でも、このコンピテンシー評価型面接を理解しているか理解していないかというのが**合否に大きく影響**してきます！詳しく紹介するので絶対に把握しておきましょう！

コンピテンシー評価型面接というのは、ペラペラ喋らせるのではなく、受験者がある壁にぶつかったときどのように考え、どのように行動してきたのか、また、どのように改善することができたのかなどを聞くことで、『**受験者の行動特性**』を見る面接形式のことです。

... まあこの説明だけじゃわけわかんないですよ(汗)具体的にいうと、「部活でキャプテンをしていた」というひとつの発言に対して面接官が「なぜキャプテンになったの？」「自主的に？それとも周りの人から推薦されたの？」「なにか辛いことはあった？」「その壁をどう工夫して乗り越えたの？」... 等、このように**受験生が実際に行ってきた実体験**について深く突っ込み、その受験生の行動特性を探っていくというわけですね！

公務員の受験生は多いですし、皆平等に採点しなければいけないので、このような面接形式が採用されています。この面接形式の面白いところは、『**全員同じような質問がくる**』というところですね！

例えば、「学生時代頑張ったことは何ですか？」という質問に対し、受験生はエピソードを話しますよね。このネタに対して、「目標は何だったの？」「あなたが目標達成に対して工夫したことは？」「壁にぶつかったときどうした？」... 等、『**突っ込まれ方**』や『**展開方法**』がある程度決まっているんですね。非常に面白いですよ。面接のネタは基本的に受験生が作るわけですから、公務員の面接試験は『事前準備』が非常に重要となります。私みたいに準備が甘いと失敗

してしまうことがあるわけですよ(笑)でも逆に考えると、**対策しやすい試験方式**であるとも言えます！きちんと対策していけば、絶対に上達するのがコンピテンシー評価型面接なので、皆さんもきちんと対策していきましょうね！



確かに急にエピソードなんて話そうと思っても、スラスラ出てくるもんじゃないもんな～
きちんと対策すれば合格できるって思ってOK？ 🤔



もちろんOK！！ **公務員試験は頑張った人が報われる試験**だからね！
私も面接が苦手で、最初は全然話せなかったけど、練習していくうちに徐々に話せるようになっていったんだ。

② 「嘘」が通用しない！オリジナルエピソードが大事！

コンピテンシー評価型面接においては、**オリジナリティがある自分の特有のエピソードを用意することが非常に重要になってきます**。なんせ**コンピテンシー評価型面接では『嘘』が通用しません**からね！嘘をついたらどうなるか、嘘つきのネコ君（受験生役）と受験の神様（面接官役）の実際の会話を紹介します！



大学時代に最も力を入れて取り組んだことは何じゃ？ほっほ。



アメリカに留学したことかな（ドヤッ）



ほほう。じゃあその留学中に一番つらかったことは何じゃ？ほっほ。



（うっ...）まあ意志の..疎通...かな！！



ほほう。じゃあ意思の疎通を図るためにそのとき工夫したことは何じゃ？ほっほ。



(ううう...)



... **不合格** じゃ！ほっほ。

...とまあこんな感じになってしまいますよね(汗)皆さんの人柄や行動特性が見られるということで、『嘘』はなるべく言わない方がいいです。ネコ君のようにしどろもどろになってしまうと一番大事な『**信頼性**』を失ってしまいますからね。一度信頼性を失うと、「こいつの言っていることは本当か？」と面接官に思われるようになってしまい、その後挽回するのは非常にハードルが高くなってしまいます。どんなに些細なことでも、ちっぽけな内容でも構いませんので、オリジナリティあるエピソードを話のネタとして話すことが大切です！

例えば、志望動機ってありますよね。これは高い確率で聞かれることになりませんが、実はこの志望動機からオリジナリティあるエピソードは求められているんですね！パンフレットや公式のHPに載っている政策や計画をそのまま書いてしまうと、面接官に「パンフレットまるパクリじゃないか...つまらん...」と思われてしまい、熱意がまったく伝わらずに評価は低くなってしまいうわけです。

でも、HPやパンフレットに載っている情報って綺麗にまとまっていて見た目はものすごくかっこよくなりますよね(笑)面接カードの志望動機欄にも「現在の施策や計画をそのまま書き、これに興味があったので受けた～」としてももちろんOKなのですが、例えるならこれは『シンデレラ』のエピソードですね。自分のものでなければ、面接官

も皆知ってるエピソード、これを多少改良しただけのものでは面接官につまらないと思わせてしまいます。HPやパンフレットから借用したものはすべて『ヘンゼルとグレーテル』や『白雪姫』みたいな有名な童話だと思ってください！面接官はこんなもの求めていません！**カッコよさや見た目なんてどうだっていいですから、自分のオリジナルエピソードをネタにしていきましょう！**これは志望動機だけでなく、公務員の面接試験すべてにおいて言える話です。

③ エピソードが大事！

先ほどオリジナルのエピソードが大事だといいましたが、なぜこれが大事なかわかりますか？

面接はただおしゃべりする場所ではありません。面接官と受験生のマッチングの場で、受験生側からすると自分をアピールする場となります。ということで、『**自分をアピールするために**』オリジナルエピソードを話すわけですね！なので、ただエピソードを語ったり、自慢話をしたりするのではなく、『**エピソードで自分の強みを裏付け**』するんですね！

口先（嘘）だけなら何とでも言えますから、その証拠としてエピソード（具体例）を話し、面接官を納得させていく必要があるってことです！自分の強みを一つの商品だと思って、それをPRするというイメージですかね。「強みは〇〇です。それは～（エピソード）～だからです！」と売り込み、面接官を納得させることが大切です！



ただ体験談を話すだけじゃなくて、エピソードで自分をPRしていくってことだね！
ところで「エピソード」ってどうやって作ればいいの？



そういうこと！『**エピソードで自分の強みを裏付けする**』って考え方はすごく大事なんだ！
作り方や自己分析のコツは第2章や第3章で紹介していくよ！

④ メインディッシュは結果でなく「過程」だ！

ここまでの話をきちんと理解してくれた方はお分かりいただけると思いますが、エピソードで大事なものは結果でなく『過程』です。留学した～、全国大会で優勝した～、生徒会長をした～...等、これらの結果は確かにすごいかもしれませんが、この結果部分を直接評価してもらえない～なんてことはありません。何度も言いましたが、公務員の面接試験はコンピテンシー評価型面接！「行動特性」が見られますからね！もう少し具体的に言うと、「行動に現れる能力・特性」「結果や成果と結びつく能力・特性」が見られるわけですね。そして、これらの「行動特性」に加えて、「人柄」が評価の対象ということですね。

例えば、全国大会で優勝したというのは確かにすごい結果ですが、面接官が見たいのはそれに至るまでの『過程』です。「優勝するためにどんな工夫をしたのか」「どんな辛い壁があったのか」「その壁を乗り越えるためにどう行動してきたのか」...等、その人の「人柄」や「行動特性」がみたいわけですね。この受験生は大きな困難にぶつかったときどう行動するのかな～、これから高い目標を持って仕事に取り組みそうかな～、失敗をバネに成長していけそうかな～なんて思いながら面接官は受験生の皆さんのことを見てます！

この行動特性をうまくアピールするためには、『自己分析』が非常に重要になってきます。自己分析ができてないと面接は落ちてしまいますが、逆にきちんと出来ていれば絶対に受かると言っても過言ではないのが公務員の面接試験ですから、皆さんはこれからこの本を通して私と一緒に自己分析を行っていきましょうね！



俺、大会とかで結果出したことないし、役職とかもやったことないし、アピールできるところが無いような気がするんだけど... 😞
エピソードなんてあるかなあ...



ものは言いようだよ！なんせ私はニート生活をしていたからね！
きっと『自己分析』ができてないだけだと思う。
これからこの本を通して私と一緒に自己分析していけば大丈夫さ 😊

⑤ 話を盛ったり、少し「嘘」をつきたいんだけど...

コンピテンシー評価型面接なので、そりゃ嘘ついたり、話を盛ったりするのはできれば辞めた方がいいですが、可能か不可能かで言ったら可能です！色々な講師がいると思いますが、講師目線と受験生目線の両方から見ている私の意見としては、嘘や話の盛りは全然OKだと思ってます。こんなこと言う講師も私くらいかもしれませんが...でも、「さっきから嘘はダメだって言ってたじゃないか！」と思いますよね。これは私みたいに、元々の人間性がダメでどうしても嘘をつかないとやっていけないという方のための話だと思って聞いてください。

まず、「話を盛る」ことについてですが、これは別に問題ありませんよね。例えば、結果の面ですが、大会で2位だろうが1位だろうが、そんなのはどうだっていいです。細かい話は面接官も興味がありませんからね。ほかに、「アルバイトで売り上げを伸ばした」と言いたかったとして、実際に売り上げが伸びてなくても、「伸びた」というくらいなんてことないです。これくらい皆やっていると思ってください。真面目な皆さんは意外にすべて正直に話してしまいがちですが、ここら辺は戦略ですよ！

次に、「嘘」についてですが、当然あからさまなものはダメですが、実際に私は「業務を効率化するための工夫として、週1回のミーティングを企画した」「アルバイトをしてた」と嘘をついたことがあります。そんなものは企画していませんし、アルバイトなんかせずに毎日ぐうたら生活していました。でも、大事ななのは自分をアピールすることですから、このような嘘をついても、面接官の質問に全部答えられればいいわけですね。ボロが出ないようにたくさん練習しなければいけません。可能か不可能かで言ったら可能ということです。ハローワークやジョブカフェ等で模擬練習するにしても、色々な先生がいますから、なるべくたくさんの人に相手してもらおうことが大切です。そのエピソードからの展開方法も人それぞれですからね！まあ嘘というのはバレてしまうとマズいですから、嘘をつく予定の方は練習しまくってガードを固めていきましょう。

⑥ 日頃から「人に好かれる言動」を心がけてみよう！

コンピテンシー評価型面接では、面接官に「まずは受験生をリラックス」させるよう指導させており、皆さんの本当の姿・人柄を見ようとしてきます。面接試験という特殊な環境でも緊張せず、面接官と自然に会話し、本心を語ってくれるような雰囲気を作ろうとしてくれるわけですね。どうしてもいい話ですが、「面接官と受験生の心が通じ合い、理解しあえる親密な関係を築く」ことをレポートを形成すると言います。

面接官はレポートを形成するという目的があるので、面接試験のはじめに「緊張してると思いますが、普段のアナタが見たいので、落ち着いて受けてくださいね」「緊張をゆっくりほぐして教えてくださいね」「今日は雨ですね、どうやってこられましたか？」...等、まったくした会話からスタートすることが多いというわけですね！

要は公務員の面接試験では『本来の自分』が見られるわけですよ！「面接対策も大事だし、素の自分も大事なの...？」と思う方もいるでしょう。そうなんです。どちらも大事なんです！

突然ですが、ここで1つ質問です。

『皆さんは人に好かれるのと嫌われるの、どちらが嬉しいですか？』

はい、大半の方が「好かれると嬉しい」と答えてくれたのではないのでしょうか。私も人に好かれた方が嬉しいと思います。何が言いたいのかというと、とりあえず面接官を好きになりましょうということです。これは超大マジメな話で、本気で好意を持っているからこそ、自然といい回答をすることができ、面接官からの印象も良くなるんですね！心の中で「面接官なんてただのおっさんだろ？」と見下していたとすると、そういった気持ちが自分の言動に出てきてしまったりします。これらの現象は「好意の返報性」と言ったりもしますよね！まずは面接官にいい印象を持つことからスタート！

また、日頃から『人が喜ぶ行動』『相手が嬉しいと思う行動』が出